

家庭学習の手引き

R5.4.14

～なぜ、家庭学習が必要なのか～

子供たちが生きていくこれからの社会は、現代以上に変化の激しい予測が困難な社会になると言われています。次代を生きる子供たちが、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、社会に出た後も学び続け、問題を発見・解決する力を身に付けたり、新たに必要とされる知識や技能を自分から獲得したりしていくことが求められます。

そのため「生涯を通じて自己の向上に努める」基盤を作るためにも、**学校教育で「自らの学びをマネジメントする力」を育てる必要があります。**また、それは、学校での学習だけでなく、家庭学習でも培っていかねばならないものだと思います。

私たちが考えている**家庭学習は「宿題＋じぶん学習（自主学習）」**です。
以下の資料をご覧ください。

【資料】家庭学習って何？

家庭学習＝「宿題＋じぶん学習（自主学習）」

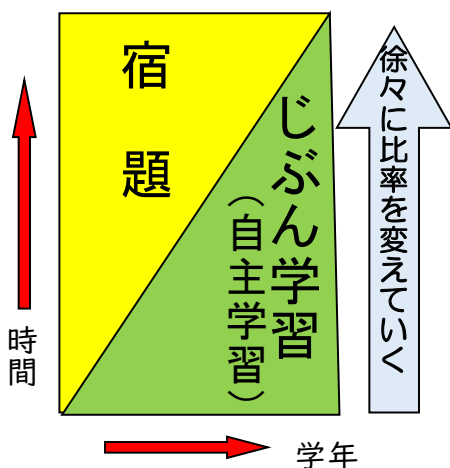
宿 題
教師が示した課題
に取り組む学習

+

じぶん学習①
（自主学習）
授業の復習や予習、
授業で学習したこ
との発展的な課題
に取り組む学習

ま
た
は

じぶん学習②
（自主学習）
自分の興味や関心
がある課題を追
究する学習（自由研
究的な学習）



- ★低学年は宿題中心
- ★中学年はじぶん学習（自主学習）を増やしていく
- ★高学年はじぶん学習（自主学習）中心



宿題は、教師が課題を示します。子供たちにとっては与えられた課題ですが、ドリルや漢字練習を機械的にこなすだけでなく、子供たちが主体的に宿題に取り組めるように工夫していきます。何のためにこの学習をおこなうのか理解できるように、めあてをもって取り組むことを促したり、宿題に選択肢を示し、子供たちが自分で選んで学習できるような取組をしたりしていきます。

じぶん学習（自主学習）は、勉強の内容や方法も自分で考えて行う、目的意識や学ぶ楽しさを大切にした主体的な学習です。じぶん学習（自主学習）は、①と②に分けて考えます。じぶん学習（自主学習）に取り組むことで、自分で課題を見つけ、追究する力が身に付きます。じぶん学習（自主学習）は、まさに「自らの学びをマネジメントする力」を育てる学習とも言えます。

家庭学習には「学力向上」という側面もあります。家庭学習を学力向上に効果的に結び付けるには、家庭学習と授業の内容をリンク（連動）させなければ、学力は十分高まりません。たとえば、授業で学習したことを、その日のうちに家庭で復習したり、間違った問題をもう一度解いてみたり、授業で学習したことをもっと詳しく調べてみたり、実際に使ってみたり等の家庭学習が求められます。



家庭学習の時間の目標とじぶん学習（自主学習）の内容（例）を以下に示していますので、参考にしてください。

家庭学習の時間・内容

▶家庭学習の時間の目標

低学年 20分以上 中学年 40分以上 高学年 60分以上

▶じぶん学習（自主学習）の内容（例）

<じぶん学習（自主学習）①>

- ★視写（教科書や好きな文章を書き写す）
- ★暗唱 ★教科書の予習、復習
- ★並行読書（授業で学習した読み物と関連する本を読む）
- ★漢字テスト練習 ★前に習った漢字練習
- ★計算練習 ★算数の発展問題にチャレンジ
- ★算数問題作り ★単元テスト勉強 ★単元テスト直し
- ★社会科新聞づくり ★歴史調べ
- ★社会科の授業で学習したことをノートにまとめる
- ★理科の実験手順調べ

<じぶん学習（自主学習）②>

- ★観察記録
- ★新聞スクラップまとめ（記事を切り抜き感想や意見を書く）
- ★日記を書く
- ★インターネットや図鑑を活用して、自分の興味や関心がある課題を追究する

じぶん学習(自主学習) 4つのステップ

「じぶん学習(自主学習)」とは**目的意識**や**学ぶ楽しさ**を大切に**主体的な学習**です。

自分からはじまる「じぶん学習(自主学習)」



下の「4つのステップ」は全て「じぶん学習(自主学習)」です。

「じぶん学習(自主学習)」じゃないよ

先生に出せたらいいや。



とにかく終わらせよう。

4つのステップで「じぶん学習(自主学習)」を広げよう

ステップ① いつもの宿題は 何のためにするのか考えよう

その学習をすると どんないいことがあるだろう。楽しんで学習ができるとすてきですね。

これがんばったら、きっと明日の授業がよく分かるな。

うーん。本当にこれで漢字がおぼえられたかなあ。

せっかくだから、速く計算できるようになりたいな。



明日の授業で上手な音読をするぞ!



「それならこうした方がいいな。」と思ったら、**ステップ②** へ。

「他にもやってみたい事があるよ。」と思ったら、**ステップ④** へ。

ステップ② 自分のために ちょっと工夫して学習しよう

いつもの学習、もっと工夫できないかな。ちょっとプラスで考えてみよう。

言葉見つけもしてみようかな。

授業みたいに ふり返りをして、もっといい学習にしよう。

これができたから、タブレットドリルもやってみよう。



大事なところに線を引いておこう。



「もっと工夫ができそうだな。」と思ったら、**ステップ③** へ。

「もっと色んなことが知りたい。」と思ったら、**ステップ④** へ。

ステップ③ 目的のため、自分に合った学習方法を考えよう

効果の大きい学び方は 人によってちがいます。色々ためして 自分に合った方法を探そう。

【ふり返し】を書いて
おこう。
「〇〇さんの方法を
まねしたら、覚えやす
かった。」……と。

昨日とちがう
方法でやって
みよう。

この学習はパソコンを
使った方がいいな。

「他にもチャレンジしたい。」
と思ったら、**ステップ④** へ。

自分にはこの
方法が合っ
ているかも。

「誰かのために何かしたいな。」
と思ったら、**ステップ④** へ。

ステップ④ 目標を立てて 自分で学べる人になろう 「好き」や「得意」を広げて 生かそう

今日の授業で学んだことを、広げよう、深めよう、使ってみよう。

自分がすべき学習を考えて、計画を立てて 取り組めるようになろう。

もっとくわしく調べて、
みんなに知らせよう。

今日の授業、難しかったな。
そうだ。教科書の問題をもう
一度解いてみよう。

今日習った
英語を使って、
ALTの先生と
楽しく話したい！
そのために……

授業で解決
できなかった
問題を解決
したいな。

日曜までに
ここまで
がんばろう。

「提出することが目的になってしまっているな。」
と思ったら、先生やお家の人と相談して、
もう一度、**ステップ①～③** へ戻ろう。

自分の「好き」や「得意」を広げよう。誰かのために できることを考えよう。

大好きな絵、
家族に
プレゼント
しようかな。

係活動で
生かせない
かな……

サッカーのこと、
友達に教えたいな。

プログラミングで
ゲームを作って
お楽しみ会を
開こう！

自分の力を 生活や社会に生かそう。将来につなげよう。



もっと素敵な自分へ もっと素敵な世界へ

好きなことから、自分の可能性を広げよう。

目標を調整しながら、なりたい自分を目指そう。

あなたの素晴らしい力は、きっと誰かのため、社会のために生きるはず。

「じぶん学習（自主学习）」で、よりよい自分、よりよい世界を 創っていこう。

